

この公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷して作成したものです。

比例代表も自民党へ

明日を守る。日本を守る。

景気対策

ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた景気回復に取り組み、誰もが安心できる生活の安定と格差是正につとめます。

安全保障

北朝鮮問題をはじめとする安全保障について、国際社会と連携して、国民の生命と財産を守りぬくため、緊張感をもって取り組みます。

社会保障の充実

誰もが安心して暮らせる、持続可能な社会保障制度の構築に全力をつくします。

プロフィール

昭和38年 2月 岐阜県に生まれる
 昭和62年 3月 東京大学法学部卒業
 4月 通商産業省(現在の経済産業省)に入省
 平成5年 2月 弁護士、大垣市内に法律事務所開設
 平成8年 10月 衆議院議員 初当選
 平成14年 2月 自由民主党青年局長

平成16年 9月 科学技術政策担当国務大臣
 平成17年 7月 食育担当国務大臣(初代)を兼務
 平成24年 12月 自由民主党政務調査会長代理
 平成26年 9月 自由民主党幹事長代理
 令和3年 6月 国家公安委員会委員長
 内閣府特命担当大臣(防災・海洋政策)
 国土強靱化・領土問題担当大臣



岐阜県第2区 自民党公認

たなはし 泰文

58歳

政権交代で、政治を変えましょう

これまでの政府のコロナ対応は、①科学無視、②医療・公衆衛生切り捨て、③まともな補償なしで、反省もありません。

私はワクチン接種と一体の無料PCR検査、病床・保健所の予算二倍化、一人10万円の「暮らし応援給付金」を提案しています。

「子どもたちに平和な明日を引き継ぎたい」「格差と貧困をなくし、正規雇用で若者に安心できる暮らしを」の願いを実現するために、あなたの1票を日本共産党と三尾圭司にお寄せください。



新しい日本をつくるための四つのチェンジ

① 命と暮らしを大切にする政治

弱肉強食、自己責任押しつけの政治を終わりに

- ◆ 高齢者の医療費負担増を中止
- ◆ 非正規社員を正規社員に
- ◆ 税金の不公平をただし、消費税を5%に減税

② 気候危機を打開する

CO2を最大60%削減

- ◆ 脱炭素、省エネ、再エネの促進
- ◆ 石炭火力・原発ゼロの実現

③ ジェンダー平等の日本を

男女の賃金格差をなくす

- ◆ 選択的夫婦別姓、同性婚を認める法改正を
- ◆ 性暴力の根絶 財界言いなりの働き方を改める
- ◆ 差別の価値観を根絶

④ 憲法を生かす

アメリカいなりから抜け出す

- ◆ 辺野古新基地建設は中止
- ◆ 核兵器禁止条約に署名・批准する政府をつくる
- ◆ 憲法9条を生かした平和外交を

『新自由主義』に別リオド

国民のSOSに 応える政治に

なにより、いのち。ぶれず、しなやかに

自公と補完勢力の冷たい政治をやめて、
政権交代へ



三尾 Home page



党 Home page

日本共産党を伸ばしてください

比例代表の投票は 日本共産党へ

政党名でお書きください



三尾 圭司

1976年生まれ 45歳
●中川小、星和中、大垣東高、中京大学 卒業
●党岐阜2区国政対策委員長

選挙権は18歳から!

感染症対策をして投票しよう

- ・マスクの着用
- ・来場前後の手洗い
- ・周囲の方との距離の確保

投票時間

午前7時から午後8時まで

投票日

10月31日(日)

一部の投票所では、この投票時間と異なる場合がありますので、ご注意ください。

新型コロナウイルス感染症により宿泊・自宅療養等をしている方は、郵便による投票ができます。【投票用紙の請求期限】10月27日(水) 必着

岐阜県選挙管理委員会

岐阜県の明るい選挙推進イメージキャラクター

鵜飼めいすいくん

岐阜県選挙管理委員会ホームページ

岐阜県 選管

検索

岐阜県衆院選 特設サイトはこちら



政策5本柱

1. 「積極財政」に転換

- ①一律10万円を現金給付
- ②事業者の固定費を補償(最大9割)
- ③消費税減税(10%→5%)

2. 「給料が上がる経済」を実現

- ①デジタル化、カーボン・ニュートラルへの積極投資
- ②「日本型ベーシックインカム」創設
- ③中小企業を支援しつつ最低賃金引き上げ
- ④中小企業の社会保険料負担半減

3. 「人づくりこそ国づくり

- ①教育の無償化(3歳からの義務教育など)
- ②児童手当一律月額15,000円(18歳まで)
- ③「教育国債」創設(教育・科学技術予算倍増)

4. 国民と国土を「危機から守る」

- ①農業者戸別所得補償制度の復活・環境加算導入
- ②防災インフラ整備
- ③東京一極集中是正
- ④主権を守る態勢の強化

5. 「正直な政治」をつらぬく

- ①公文書改ざん厳罰化
- ②被選挙権年齢引き下げ(衆院18歳、参院25歳)
- ③女性の政治参加推進



コロナ三策

第一策

検査の拡充「見つける」

- 「無料自宅検査」によるセルフケアで家庭内感染を抑制
- 陰性証明を持ち歩ける「デジタル健康証明書(仮称)」の活用

第二策

感染拡大の防止「抑える」

- 自衛隊の協力を得て臨時の医療施設を速やかに開設
- 国立病院・JCHOの患者受入れ拡大と民間病院の受入指示法制化
- 「被災者健康支援連絡協議会」の枠組みも活用し医療従事者を確保
- 保健師の増員など、保健所機能を強化
- 国産のワクチン、治療薬の開発、承認を加速
- ワクチンを地域・年代に着目して戦略的に重点配分
- 抗体カクテル療法の自宅投与を可能とし、重症化を防止
- 入国時14日待機機の厳格化や接触アプリ義務化など水際対策の強化
- 感染症対策司令塔機能強化のため「日本版CDC」創設
- 移動制限のあり方と法制化の検討

第三策

経済・社会活動との両立「動かす」

- 一律10万円の再給付(低所得者は20万円、高所得者には確定申告時に課税)
- 消費税減税
- 家賃など固定費の最大9割を支給する事業規模に応じた給付金
- 総合支援資金の再貸付延長
- 税・保険料の猶予延長・減免処置の延長・拡充(事業者の消費税納税免除)
- 「デジタル健康証明書(仮称)」で自粛生活から解放(再掲)

おおたに ゆりこ プロフィール

1985年 京都ノートルダム女子大学文学部英語英文学科 卒業
 1985~1988年 吉本興業株式会社 故郷山やすしのマネージャーを務め、宮川大助・花子などの売り出しに尽力する
 1991~2004年 企画会社社長として、吉本興業と組んでタレントの売り出し、イベント企画、地域活性化、セールスプロモーションを行う
 2003年 有限会社志縁塾を立ち上げ代表取締役。企業研修、リーダー育成、人材育成、講師育成を行う
 2016年 法政大学大学院政策創造研究科政策創造専攻 修士課程 修了

比例は国民民主党へ

YouTube

登録をお願いします



フォローして下さい



国民民主党 公認

おおたに ゆりこ

58歳